

令和 7 年度
ヤングケアラーに係る実態調査について

宮古市保健福祉部こども家庭センター

1 目的

市内におけるヤングケアラーの実態を把握し、必要な支援につなげるため、実態調査を実施する。

2 対象者

市内の小学5年生から、高校3年生までの 2,655 人(昨年度は高校2年生までが対象)

小学生	5年生 317 人	6年生 299 人		616 人
中学生	1年生 333 人	2年生 338 人	3年生 300 人	971 人
高校生	1年生 339 人	2年生 369 人	3年生 366 人	1,068 人
計				2,655 人

※宮古恵風支援学校在籍児童生徒は含まない。

※高校生は、全日制高校に通学する生徒を対象とし、市外から通学する生徒も含む。

3 実施方法

児童生徒自身が回答する記名式アンケート(logo フォーム)

4 実施期間

令和7年9月1日(月)から同年9月12日(金)まで

5 実施結果

(1) 回答数 (同一氏名等重複回答68件を除く)

	対象者数	回答数	回答率※
小学生	616	547	89.0%
中学生	971	830	85.5%
高校生	1068	1017	95.2%
計	2655名	2394名	90.2%

※ 【高校生】市外から通学する生徒を含む

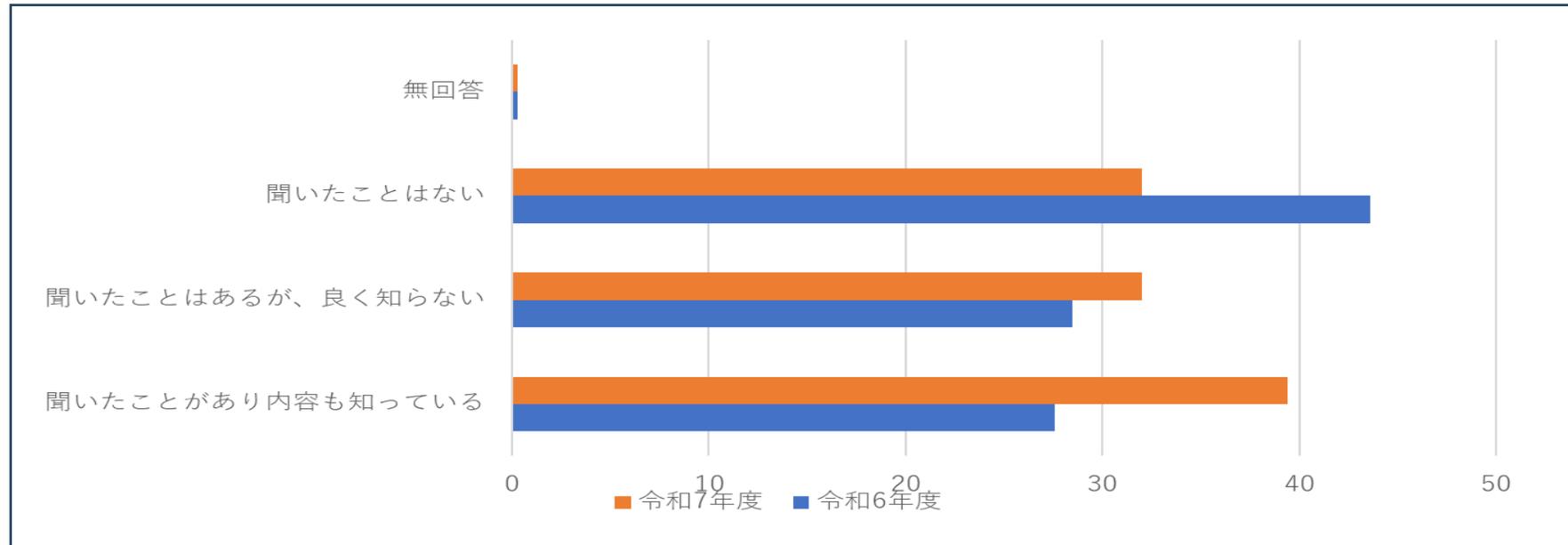
(2) 集計結果

① ヤングケアラー認知度

	小学生		中学生		高校生		計	
聞いたことがあり内容も知っている	93	17.0%	296	35.7%	555	54.6%	944	39.4%
聞いたことはあるが、よく知らない	155	28.3%	299	35.7%	312	30.7%	766	32.0%
聞いたことはない	289	52.9%	224	27.0%	139	13.7%	652	32.0%
無回答	10	1.8%	11	1.3%	11	1.1%	32	0.3%

*令和6年度との比較（全体の割合から）

「聞いたことがあり内容も知っている」と回答した割合が若干増え、「聞いたことはない」が減っていた。



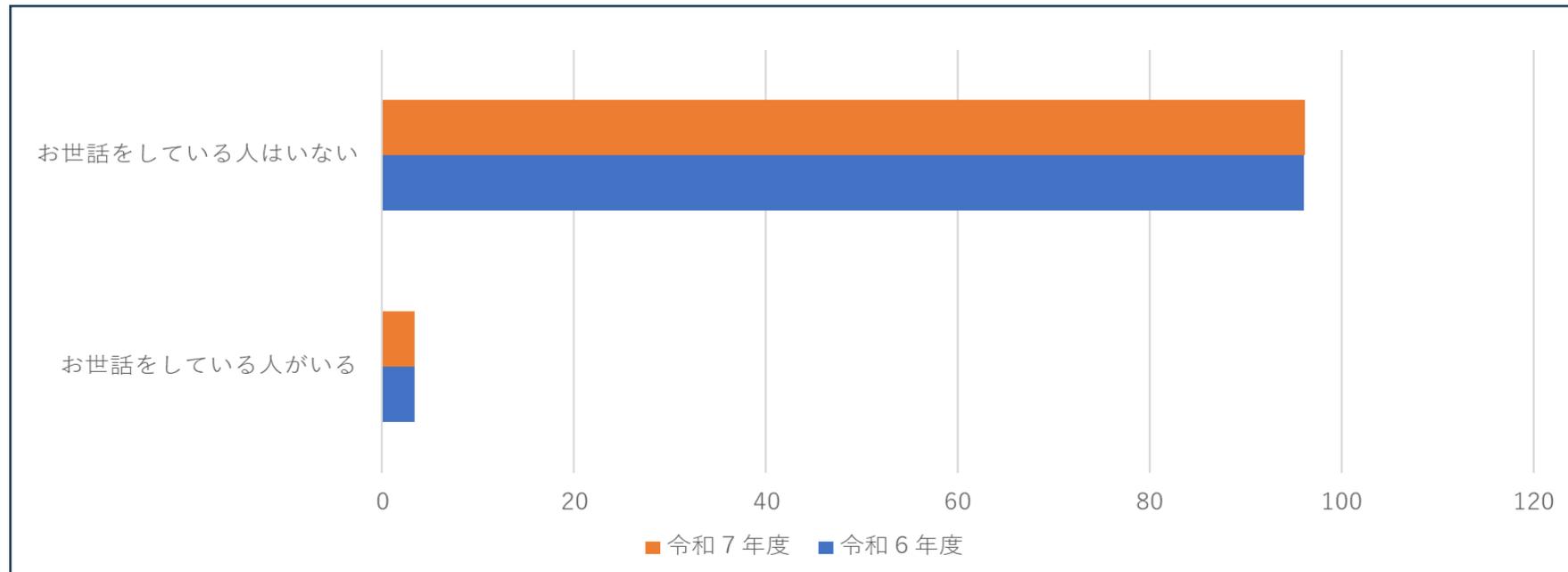
② 家族の中に「お世話をしている人」の有無

	小学生		中学生		高校生		計	
いる	34	6.2%	26	3.1%	20	2.0%	80	3.4%
いない	513	93.8%	804	96.9%	997	98.0%	2314	96.1%
計	547		830		1017		2394	

※高校生 いる 20名中 市内16名、市外4名

*令和6年度との比較（全体の割合から）

令和6年度との大きな差はない。



③「お世話をしている人」（複数選択可）

※以下【高校生】市内に住所のある生徒が対象

	小学生		中学生		高校生		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
弟・妹	22	64.7%	13	50.0%	9	56.3%	44
母親	5	14.7%	6	23.1%	2	12.5%	13
祖母	1	2.9%	3	11.5%	1	6.3%	5
祖父	1	2.9%	1	3.8%	2	12.5%	5
その他	1	2.9%	2	7.7%	1	6.3%	5
父親	2	5.9%	1	3.8%	0	0.0%	3
兄・姉	1	2.9%	0	0.0%	1	6.3%	2
答えたくない	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1
無回答	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1

令和6年度の合計値
 ・お世話の対象者
 (複数回答、多い順)

①弟・妹…27人
②母 …18人
③父 …13人

*令和7年度も弟・妹のお世話をしているという回答が多い。

④「お世話が必要な理由」（複数選択可）

	小学生		中学生		高校生		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
幼いため	23	67.6%	15	57.7%	11	68.8%	49
高齢のため	3	8.8%	5	19.2%	3	18.8%	11
介護が必要なため	1	2.9%	6	23.1%	4	25.0%	11
その他の病気やけがのため	2	5.9%	3	11.5%	1	6.3%	6
認知症のため	1	2.9%	2	7.7%	2	12.5%	5
その他	1	2.9%	2	7.7%	1	6.3%	4
無回答	3	8.8%	0	0.0%	0	0.0%	3
知的障がいや発達障がいがあるため	1	2.9%	1	3.8%	0	0.0%	2
日本語が苦手なため	2	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	2
こころの病気（うつ病）のため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
お酒やギャンブルなどの依存症があるため	0	0.0%	6	0	0.0%	0	0

今年度追加した質問

⑤「行っているお世話」の内容（複数選択可）

	小学生		中学生		高校生		計
見守り	18	52.9%	16	61.5%	11	68.8%	45
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	8	23.5%	14	53.8%	9	56.3%	31
きょうだいのお世話や保育所等への送り迎え	14	41.2%	7	26.9%	5	31.3%	26
外出の付き添い(買い物、散歩など)	2	5.9%	8	30.8%	6	37.5%	16
身体的な介護	4	11.8%	2	7.7%	5	31.3%	11
感情面のサポート（ぐちを聞く、話相手になるなど）	2	5.9%	4	15.4%	3	18.8%	9
通院の付き添い	2	5.9%	2	7.7%	2	12.5%	6
お金の管理	1	2.9%	1	3.8%	0	0.0%	2
無回答	2	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	2
通訳（日本語や手話など）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0

令和6年度の合計値
 ・お世話の内容
 （複数回答、多い順）

①家事	…29人
②家族の見守り	…16人
③感情面のサポート…13人	（話し相手になるなど）

⑥いつから家族のお世話をしているか

	小学生		中学生		高校生		計	
小学入学より前	6	17.6%	1	3.8%	4	25.0%	11	14.5%
小学校1年生～3年生	12	35.3%	6	23.1%	1	6.3%	19	25.0%
小学校4年生～6年生	13	38.2%	10	38.5%	2	12.5%	25	32.9%
中学に入学してから			9	34.6%			9	11.8%
中学校1年生～3年生					6	37.5%	6	7.9%
高校に入学してから					3	18.8%	3	3.9%
無回答	3	8.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.9%

今年度追加した質問

⑦どれくらいお世話をしているか

⑦～⑧今年度
追加した質問

	小学生		中学生		高校生		計	
だいたい毎日	23	67.6%	8	30.8%	10	62.5%	41	53.9%
一週間に3～5日	4	11.8%	7	26.9%	4	25.0%	15	19.7%
一週間に1～2日	3	8.8%	10	38.5%	1	6.3%	14	18.4%
1か月に1～4日	2	5.9%	1	3.8%	0	0.0%	3	3.9%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	5.9%	0	0.0%	1	6.3%	3	3.9%

⑧1日どのくらいお世話をしているか

	小学生		中学生		高校生		計	
1時間未満	11	32.4%	17	65.4%	6	37.5%	34	44.7%
1時間～3時間	18	52.9%	5	19.2%	5	31.3%	28	36.8%
3時間～7時間	2	5.9%	2	7.7%	3	18.8%	7	9.2%
7時間以上	0	0.0%	2	7.7%	0	0.0%	2	2.6%
その他	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%
無回答	2	5.9%	0	0.0%	2	12.5%	4	5.3%

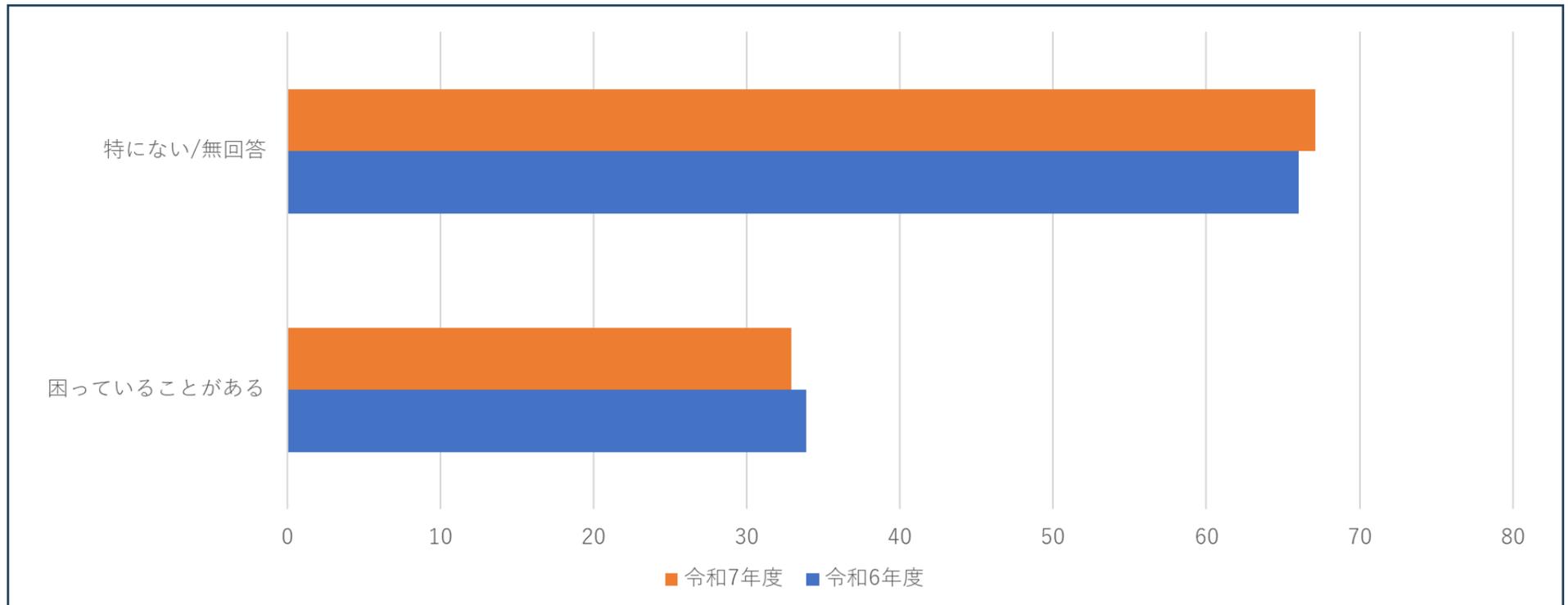
⑨ 「家族等のお世話をすることで困っていること」の有無

実数	小学生	中学生	高校生 (市内)	計	
困っていることがある	8	8	9	25名	32.9%
特にない	21	18	7	46名	60.5%
無回答	5	0	0	5名	6.6%
計	34名	26名	16名	76名	

お世話している人がいると回答した
76名中、**25名が**
「困っていることがある」と回答
そのうち、令和6年度の調査時に
「困っていることがある」と回答した
児童生徒は**8名**

* 令和6年度との比較（全体の割合から）

令和6年度との大きな差はない。



⑩ 困っていることが「ある」と答えた児童・生徒のうち困っていることの内容（複数選択可）

	小学生		中学生		高校生		計
ストレスを感じる	4	11.8%	7	26.9%	8	50.0%	19
宿題をする時間や勉強する時間が取れない	4	11.8%	4	15.4%	3	18.8%	11
睡眠が十分にとれない	3	8.8%	4	15.4%	3	18.8%	10
自分の自由になる時間や場所がない	1	2.9%	2	7.7%	4	25.0%	7
授業に集中できない	0	0.0%	4	15.4%	2	12.5%	6
友人と遊べないことがある	1	2.9%	2	7.7%	3	18.8%	6
孤独を感じる	1	2.9%	1	3.8%	2	12.5%	4
学校を遅刻・早退してしまう	0	0.0%	2	7.7%	1	6.3%	3
成績が落ちた	0	0.0%	3	11.5%	0	0.0%	3
将来の進路(中学校や高校のこと)が考えられない	0	0.0%	2	7.7%	1	6.3%	3
学校にいけないことがある	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	1
部活や習い事が思うようにできない	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	1

令和6年度の合計値

・困っている内容（複数回答、多い順）

①ストレスを感じる	…11人
②宿題や勉強をする時間が取れない	…9人
③自由になる時間や場所が無い	…8人

6 今後について

ア ヤングケアラーが疑われる児童生徒への対応

- ・学校等と連携しながら状況を確認する。

⇒希望があれば面談を実施（先生・SSW・SC・こども家庭センターなど）

- ・必要に応じてサービスや相談先を紹介、手続きの支援など行う。

イ ヤングケアラーの周知・啓発

- ・学校を通じて児童生徒、家庭へリーフレット等を配布する。
- ・市内の公共機関等にポスターを掲示する。
- ・宮古市ホームページにおいてヤングケアラーに関する相談先を掲載する。